

ヨコハマ市民まち普請事業

第1次提案書

注1) 3号様式はページを増やさず、必ず2ページ以内でまとめてください。

注2) 3号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。

注3) 添付資料は位置図、現況写真、活用イメージ図、その他資料、各A4版1ページ、余白15mm以上としてください。

提案グループ名 (25字以内)	山本助産院 笑楽幸プロジェクト運営委員会
現在の主な活動 内容・活動実績	山本助産院は、28年間にわたり妊娠期から乳幼児期を中心に、専門性を活かした幅広い活動を実践してきた。訪問看護ステーション・子育て支援広場を併設し、県内外の看護大学から実習生を受け入れ、教育施設としての役割も果たしている。関東学院大学有志、NPO法人等と多様な立場との共同により地域の子育て支援を実践している。
提案場所	金沢 区 六浦二 町・丁目
提案名 (25字以内)	笑楽幸プロジェクト（多世代交流拠点事業）
提案する施設 (どのような施設の提案ですか)	提供された空き家を利用し、安心して地域住民が集える場を作る。古家を改築し、「医療・福祉・育児支援を備えた多機能型施設」「地域住民のカフェ・なんでも相談所」として、気軽に入れる建物とする。外から屋内へ段差なく入るためのスロープの設置、フロアのフローリング化、仕切り壁の撤去、トイレ改修を行い、高齢者、乳幼児が安全に集える場所にする。縁側を設置し、小さな子が庭で遊べるように整備する。カフェ開設のため、キッチンの改修、カフェスペースの設置を行う。 整備費用の概算額：約 540万円
活用イメージ (提案する施設で どのようなことを 行いますか)	空き家が多く、高齢化が進んだ周辺エリアを活性化させ、子育て支援を統合する地域の拠点として、多世代（高齢者、子育て世代、子ども）が集まる場所として機能する。訪問診療所(案)、訪問看護ステーションを併設し、多機能施設とし、地域の有志により各種イベントを実施する。（祖父母世代に遊び方を学ぶ、ごはんやおやつを作って食べる、親と子のつどいの広場との合同イベント等）を企画、運営する。医師・助産師・保健師・看護師・保育士・幼稚園教諭・建築士・ケアマネージャー等専門職集団の強みを生かし、種々の相談に対応していく。地域住民、大学、助産院、親と子のつどいの広場、横浜金沢八景ロータリークラブと連携し、施設を運営していく。
提案の背景（なぜ提案をするのか、地域のニーズや課題、生かしたい地域の魅力等に触れて説明してください）	金沢区六浦地区は、①高齢者が多い（独居 認知症等）②子育て世代と高齢者との交流が少ない ③山坂が多く駅・商店まで遠い ④空き家が多い等の問題・課題がある。 空き家が、有効に活用されないまま放置され廃屋となり防犯上も不安である。高齢者を含め住民同士顔が見える関係を築くことが求められている地域であり、人の出入りの多い助産院・つどいの広場の隣地であるメリットを活かし、地域を活性化していきたい。 居場所作りという一つの目的のために、様々な立場から多くの方が関わるきっかけとなり、安心・安全・快適・満足な交流の場としての役割を担っていく

<p>目指す地域の将来像（提案を実現することで、どのような地域にしたと考えますか）</p>	<p>サロン、イベントでの交流をきっかけに、高齢者世代も若い世代も知り合いとなり、良好な関係性が築かれる。 医療職が、関わることで育児、介護など行政と連携し、社会資源の利用へとつなげ、支え合いながら生活できるエリアを目指す。 高齢者は、子育て世代や子どもたちに知恵を伝え、こどもは多世代の交流の中で多様な価値観や思いやりをもって育ち、子育て世代が孤立した育児から解放され地域の中で育児を行えるようになる。 また、地域の防犯・災害対策も考慮し、安心安全な暮らしを送れる地域を目指す。高齢化が進む金沢区六浦エリアに、子育て世代が住みやすい町を作り、「金沢区子育て支援の協働の指針」にある「場づくり」「情報提供」「つながりづくり」を行う場所として、また「こどもの健やかな育ちの支援」「養育者の健康づくり」に加え地域住民全体の健康づくりに寄与する取り組みを行い、健康な地域を目指す。駅から遠く不便な地域に人が集まる場所を作ること、地域の活性化を図る。</p>
<p>整備時の協働（つくるときに連携する仲間や活用する地域資源注4）に触れて説明してください</p>	<p>建築士や学生ボランティアの協力を得て設計・整備計画等を作成し、コストを押さえ改修を行う。 金沢八景ロータリークラブや地域の企業・業者に協力を依頼し、社会貢献を促進していく。 利用住民のボランティア参加を促し、住民全体の意識を高めていく</p>
<p>運営時の協働（運営するとき連携する仲間や活用する地域資源注4）に触れて説明してください</p>	<p>隣接する助産院、訪問診療所（案）、訪問看護を中心とし助産師・保健師・看護師・保育士・幼稚園教諭・建築士・ケアマネージャー等専門職からの支援を受ける 大学、親と子のつどいの広場、育児サークル、横浜金沢八景ロータリークラブと連携し、施設を運営していく。</p>
<p>その他提案について特にPRしたい点を記入してください。</p>	<p>高齢者が生きがいを持って暮らし、笑顔で子育てできる場を作る。それを多くの専門職が支え、地域住民のボランティアの場となり、地域で子どもたちが育ち、高齢者が見守られる環境にしていく。 このような施設をモデルとして、高齢者支援と子育て支援を統合し専門職が支援するあり方を、各方面に発信していきたい。 医療・福祉を受けるのみでなく、生み出していく発想である。</p>

注4)「地域資源」とは、次のようなものを想定しています。

- 「ヒト」の例 ・地域のPTAから協力を受けられそう。 ・地域に設計の専門家がいる。
- 「モノ」の例 ・整備に必要な材料を安く入手できそう。 ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。
- 「カネ」の例 ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。 ・バザーなどで資金を集められそう。

整備場所の地権者等注5)への提案内容及びコンテストに応募することについての説明状況	
説明の相手方	相手方の意見等
土地・建物の所有者	長らく空き家として放置されていた所を購入したが、地域のために活用してほしい

注5) 土地・建物を所有している、借りている、又は実質的に使用権利を持つ者（会社や行政機関も含む）

記載内容について、次の内容を確認後チェックボックスに✓を入れてください。

- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報はありません。

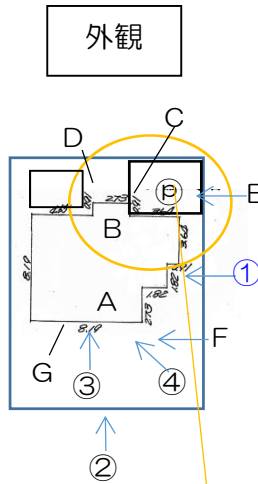
位置図



周辺の状況



現況写真



<整備内容例>

カフェ、サロン開催の
ための改修



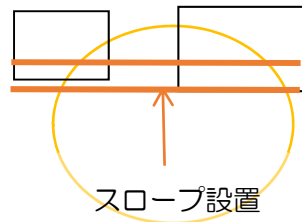
床のフローリング化 段差をなくす
壁の撤去 広いスペースの確保

B

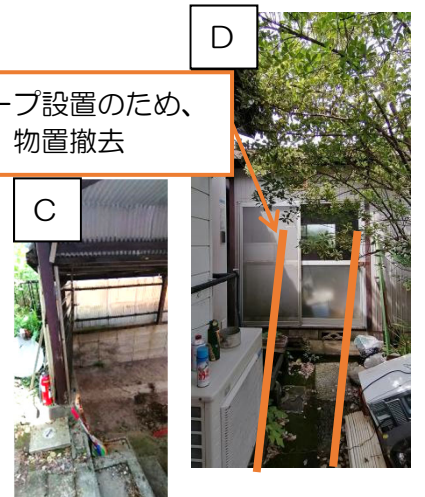


キッチンの改修
カフェスペースの設置

バリアフリーのための
スロープの設置

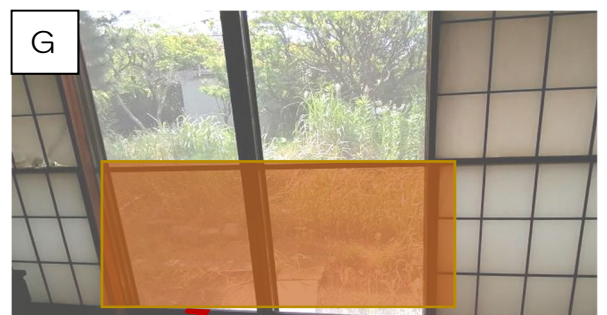


スロープ設置のため、
物置撤去



スロープ設置のため、車庫内壁、屋根撤去

縁側（ウッドデッキ）の設置



縁側（ウッドデッキ）

活用イメージ図

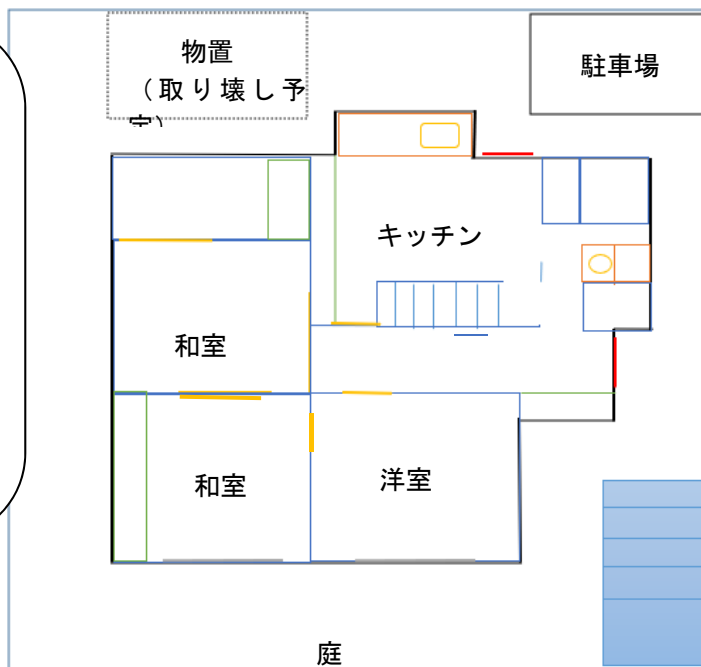
笑楽幸プロジェクト ～皆が集い、笑って楽しく幸せになる場所

訪問診療所（案）

訪問看護ステーション サテライト

医師、助産師、看護師が出入りする場。
なんでも相談所として、相談を受ける。

健康チェック（区健康づくり課貸出しの体
組成計、BC チェッカー等によるチェック、
血圧測定等）



日替わりカフェ

子育て世代、地域の住民、
だれでも利用できるカフェ。



イベントの開催

- 地域の有志による昔遊び
- 調理師、カフェスタッフによる ごはん作り
食の会、おやつ作り
- 地域の住民によるマルシェ
- ヨガ、エクササイズ等の開催
- 親と子のつどいの広場との合同イベント
（お庭でプール等）
- 医師、看護師、消防士による救急救命講座

